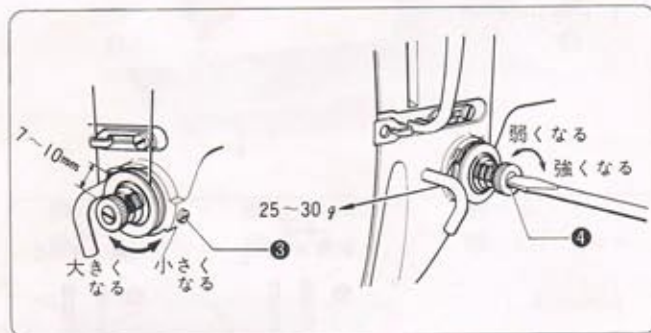


糸調子



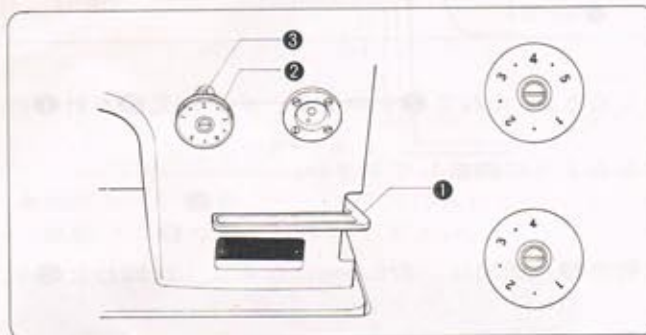
- ★下糸の調子は、糸端を持った時、ホビンケースの自重でずり落ちない程度に弱く、調子ねじ①を回して調節して下さい。
- ★上糸の調子は、押えをおろしてから、調子ねじ②を回して、上図のように調節して下さい。



◆糸取りばね

- ★糸取りばねの作動範囲は、7～10mmが標準です。
- また、糸取りばねの強さは、25～30gが標準です。
- ★糸取りばねの作動範囲を調節するには、止ねじ③をゆるめ、上糸調節器ごと回して下さい。
- ★糸取りばねの強さを変えるには、糸調子棒④の溝にねじ回しの先を入れ、回して調節して下さい。

縫い目長さの調節



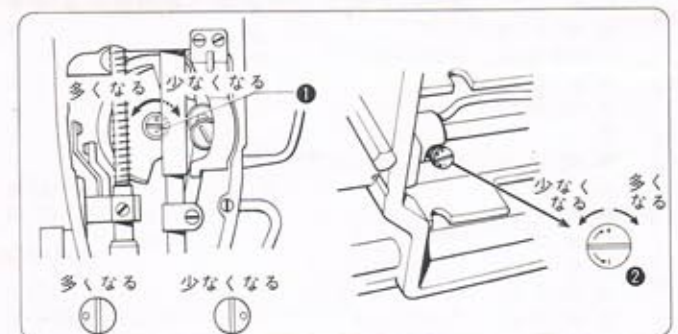
- ★逆転ハンドル①を中央の位置まで押え、目盛ダイヤル②の数字を上部のピン③に合わせてから、逆転ハンドル①を放して下さい。
- ※数字が大きいほど縫い目は大きくなります。
- ★返し縫い装置は、逆転ハンドル①を押え、布地が逆送りされ、放せば復元して正送りになる自動復元式です。

押え圧力の調節



- ★布地にかかる圧力は、布地が滑らない程度にできるだけ弱く押え調節ねじ①で調節して下さい。

上軸・かまの給油量の調節



- ★面板を外し、上軸給油調節ねじ①を回して、給油量を調節して下さい。
- ★ミシンを倒し、かま給油調節ねじ②を回して、給油量を調節して下さい。